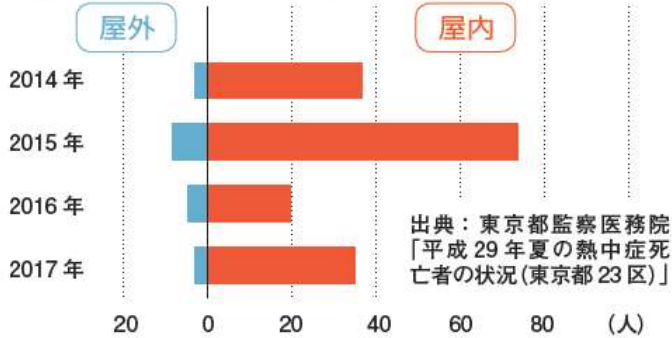


ご存じ
ですか？

断熱性能が低いと自宅が危険な場所に

■東京 23 区での熱中症死者数の推移



夏場、室温が下がらないことで熱中症になったり、冬場、室内間の温度差から血圧が急激に上昇・下降する「ヒートショック」を起こしたりと、自宅内での事故が多くみられます。熱中症による死者数は、屋内の方が屋外より圧倒的に多数。ヒートショック関連等による入浴中の死亡者数は交通事故死者の 4 倍以上という報告（厚生労働省、警察庁データ）もあり、生命に影響しかねません。

■室内間の温度差がヒートショックのリスクを増やす



急な温度変化

血圧の急激な
上昇・下降
(ヒートショック)

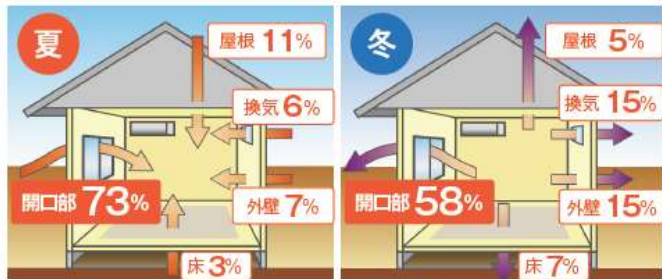
事故のリスク

断熱性能が低い住宅ほど外気温の影響を受けるため、冷暖房機器を使っても夏場は屋外の熱が屋内に流入、冬場は暖気が屋外に流出してしまいます。その分、室温調整のための光熱費も高いついてしまいます。

こうして
解決！

まずは開口部からの熱ロスを解消しましょう

■熱の流入出の割合



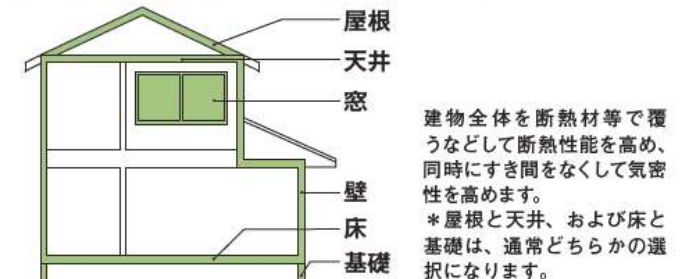
上の図は、住宅の熱の流入出経路。窓など、開口部からの熱流入出が他の部位と比べて格段に高いことがわかります。ですから、省エネルギーの特効薬は窓の断熱性能を高めること。断熱サッシへの交換のほか、ガラスだけを断熱ガラスに交換したり、既存の窓はそのまま、新たに内窓をつけるなどの方法もあります。

建物全体の断熱リフォームとしては、屋根や天井・壁・床・基礎などへの断熱材の施工が挙げられます。建物全体の断熱性能が高まるため、室内間の温度差を少なくできます。

■窓の断熱リフォーム例



■建物全体の断熱リフォーム部位 (イメージ)



■インプラス 浴室仕様

隣家や道路に面した浴室にはブラインド内蔵タイプがおすすめです。外からの視線を遮り、安心で快適なバスタイムを実現します。ブラインドを 2 枚のガラスに密閉、羽が汚れたり折れ曲がったりする心配がなくお手入れラクラク。